

やっぱりふるさとはええ

—ふるさとながと・こんにちは一



田中利幸さん

たなか としゆき／昭和48年生

広島市在住／駅前区出身／中国電力(株)勤務

私は高校を卒業するまでの18年間を長門市で過ごしました。たくさんさんの思い出がありますが、中でも小さい頃によく連れて行ってもらった「ながとプラザ」で楽しく遊んだことや、高校時代にラグビーに明け暮れたことなどが特に印象に残っています。

長門を離れ、もう10年以上が経ちました。ながとプラザも遠い昔になくなり、かつての駅前を中心とした街並みはすっかり変わっています。とはいえ、海の幸の味は昔と変わらず、帰省した際には、ここぞとばかりに魚の刺身などをたらふく食べたり、海産物を買いだめしてしまいます。今では、妻や育ち盛りの息子もこの豊かな味に魅了されてしまったのか、食卓にちりめんやわかめのふりかけが

欠かせない存在となっています。同じ中国地方の広島にいながら、近年はなかなか時間がとれず帰省することも少ないのですが、こちらのスーパードに長門産の海産物や鶏肉などが並んでいるのを見ると、何か誇らしくもあり、長門のパワーをもらった気分になる今日この頃です。

きっと、ふるさと長門が好きでたまらないのでしょう。



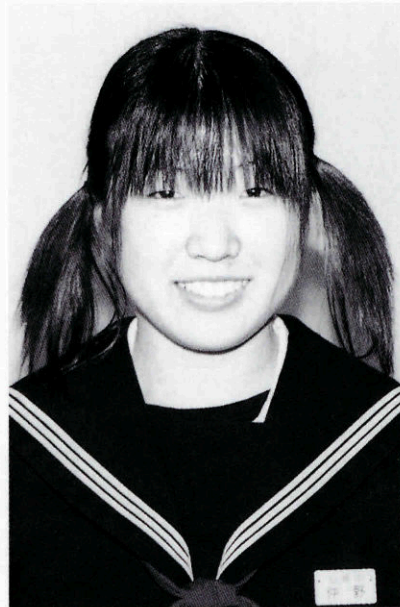
大津高2年の花園で(対日川高)
(左から2番目が田中さん)

私達の学校では、昨年11月10日に文化祭が行われました。三年生はよりよい仙崎をつくるために「仙崎ふれあいフォーラム」を開催しました。

その中でも一番力を入れたのは総合学習の発表でした。一学期から個人やグループで課題を設定し、よりよい仙崎をつくるために学習を積み重ねました。仙崎をPRするためにCMを作ったり、オリジナルかまぼこを作ったりするグループもありました。すべて自分達で進める分、苦労したり、失敗することも沢山ありました。しかし、地域の方や先生方の協力のお陰でどのグループも素晴らしい内容にすることができました。

仙崎の未来について考えた文化祭

—連絡帳—



仲野陽香さん

なかの はるか／昭和62年生

仙崎中学校3年／白湯3区

この発表のように仙崎がよりよい町になっていくことは私にとってもとてもうれしいです。これからもみんなで協力してよりよい仙崎をつくっていききたいと思いました。

